

# 令和 3 年度ぐんま緑の県民基金事業

## (市町村提案型事業) の評価について

### 1. 市町村提案型事業

「市町村提案型事業」は「ぐんま緑の県民基金事業」の一つで、5つの補助メニューにより、市町村や地域の皆様が行う森林整備などのボランティア活動を支援しています。

### 2. 5つの補助メニュー

#### 1). 荒廃した里山・平地林の整備

- ①地域活動推進（地域住民やN P O・ボランティア団体が行う事業）
  - 1) 整 備 : 刈払い、伐倒、その他事務費などの経費に対する補助
  - 2) 苗木・資材購入：苗木の購入及び食害等に対する防除資材の購入に対する補助
  - 3) 管 理 : 刈払い、集積、積込、その他事務費などの経費に対する補助
- ②市町村による地域支援
  - 1) 困難地整備支援：住民等では整備が困難である箇所が対象
  - 2) 機器の購入 : 刈払機、粉碎機の購入費に対する補助

#### 2). 貴重な自然環境の保護・保全

- ①活動支援
  - 県動植物レッドリストで野生絶滅及び絶滅危惧種 I 、 II 類に指定されている種が生息している地域の保護・保全活動に対する補助
- ②付帯施設の整備
  - 上記の活動に必要と認められる施設整備に対する補助

#### 3). 森林環境教育・普及啓発

- ①森林環境教育
  - 児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する
- ②普及啓発
  - 森林の機能や重要性について普及啓発をはかる事業に対して補助します

#### 4). 森林の公有林化

- ①水源地域森林の公有林化
  - 水源地域の森林を公有林化する市町村を支援します
- ②平地林の公有林化
  - 平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村を支援します

#### 5). 独自提案事業

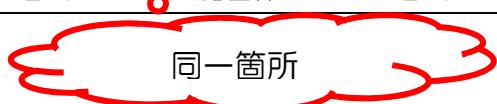
県民税の趣旨・目的を踏まえて市町村が提案し実施する事業に対する補助

### 3. 市町村提案型事業の評価について

#### 3-1 目的

ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の実績や事業実施に伴う効果について、ぐんま緑の県民税評価検証委員会において意見をいただき、県民に公表するものとするため、補助事業者及び地域評価者を対象としてアンケート調査を実施しました。今年度は事業開始から3年目の箇所（令和3年度開始箇所）について意見をいただきます。

R3年度（初年度）	R4年度（2年目）	R5年度（3年目）
困難地整備支援／整備	管理	管理
例) 困難地整備支援 ○○市□□地区 竹林1. 〇〇ha 実施団体：○○市	例) 管理 ○○市□□地区 竹林1. 〇〇ha 実施団体：□□自治会	例) 管理 ○○市□□地区 竹林1. 〇〇ha 実施団体：□□自治会



同一箇所

#### 3-2 アンケート調査対象者

- 補助事業者：事業に取り組んだ団体等  
(市町村、NPO 法人、ボランティア団体、自治会など)
- 地域評価者：補助事業者が実施した事業内容について客観的な視点に基づき判断できる者  
(市町村)

#### 3-3 アンケート区分について

##### 3-3-1 実績調査書

事業が採択された計画どおり(コスト、目的、管理体制)に実施されたか。

(事業完成後、補助事業者から実績報告書とともに提出)

##### 3-3-2 効果調査書（公共性と効果の可視化）

公共性の判断のために地域への波及効果（地域の意見、利益、主体性、事業の継続性、波及効果、意識の向上）を尋ねるもの。

(事業開始から2年経過年度末に、市町村から提出)

### 3-4 アンケートの具体的な手法

5段階評価及びコメント型の2つの手法

5段階評価	「よい」・「わるい」、「できた」・「できない」などの、対となる言葉を両極にとり、その間をスケール化（5段階）し、回答者の印象やイメージを定量的に明らかにするための手法。
コメント型	5段階評価（定量的）では把握できない内容について、回答者が自由に記述することにより、内容を把握するための手法。

設問

事業区分	I 実績	II-1 効果	II-2 効果
評価項目	実績調査書 (補助事業者用) 問1～問4	効果調査書 (市町村用) 問1、問2	効果調査書 (市町村用) 問3～問5

5段階評価の判定区分（A、B、C判定）

アンケートの5段階評価の結果については、設問毎の点数を合計し、3つの区分で判定。

判定	内容
A	取り組みが特に優れており、模範となり得る
B	現状の取り組みが十分である
C	現状の取り組みには課題があり、改善が必要

なお、設問毎の点数の合計の区分については、下表の判定基準による。

区分	判定	判定基準（点数）
I 実績	A	15 ~ 20
	B	10 ~ 14
	C	4 ~ 9
II-1 効果	A	8 ~ 10
	B	5 ~ 7
	C	2 ~ 4
II-2 効果	A	11 ~ 15
	B	8 ~ 10
	C	3 ~ 7
合 計	A	32 ~ 45
	B	23 ~ 31
	C	9 ~ 22

# 実績調査書（補助事業者用）

事業の効果検証のため以下にご協力ください。（下記について、最も適した番号に○を付してください）

問1 貴団体(市町村)が取り組んだ事業(活動)の内容及び実施規模は、当初計画どおり実施できたか。

大変良い やや良い 普通 ややできない 全くできない

できた 5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1 できない

問2 貴団体(市町村)が取り組んだ事業(活動)に掛かった経費やコストは適正でしたか

適正 やや適正 普通 やや適正でない 適正でない

適正である 5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1 適正ではなかった

問3 貴団体(市町村)が取り組んだ事業(活動)により、当初の計画の目的が達成できましたか

大変良い やや良い 普通 ややできない 全くできない

できた 5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1 できない

問4 取り組んだ事業(活動)実施後の管理(実施)体制は整っていますか

大変良い やや良い 普通 やや整ってない 整っていない

整っている 5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1 整っていない

これまで貴団体(市町村)が取り組んだ事業(活動)について、事業規模、事業内容、経費・コスト、目的の達成、管理(実施)体制の観点から、特に評価すべき点(努力した点、成果)や課題について記載してください

特  
に  
評  
価  
す  
べ  
き  
点

課  
題

# 効果調査書（市町村用）

ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業  
市町村担当  
課・係名・住所・電話

事業担当課名：  
住 所：  
電 話：

## 問1

市町村内で取り組まれた事業(活動)は、地域の意見を取り入れ、地域が主体的に取り組んだ事業(活動)になっていますか。



※ 機械購入:地域の活用事情を踏まえた購入計画(機種選定、台数)となっていましたか

※ 森林公有林化:市町村森林整備計画との整合性が図られるものになっていますか

## 問2

市町村内で取り組まれた事業(活動)は、継続的な取り組みになっていますか。



※ 機械購入:機械の利用実態や貸出状況を勘案し、機械が継続的に使用されていますか

※ 森林公有林化:公有林化後の森林の管理等は適切に行われていますか

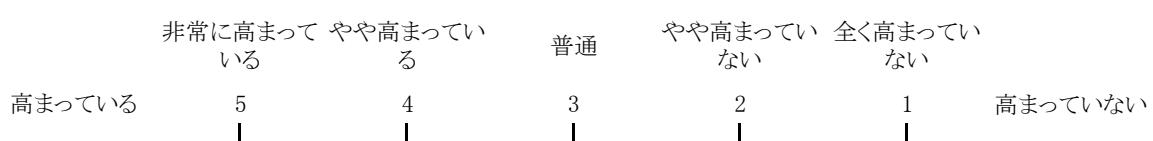
## 問3

市町村内で取り組まれた事業(活動)が地域において理解され、その取り組みが地域に広がっていますか



## 問4

市町村内で取り組まれた事業(活動)により、「ぐんまの森林を守る」という気運は高まりましたか



## 問5

貴市町村内で取り組まれた事業(活動)は、当初の計画の目的が達成できていますか



### 【5段階評価の目安】

5, 4: 他の地域の模範となるような取り組みや活動内容として評価できる場合。

3 : 現状の取り組みが十分であり、概ね評価できる場合。

2, 1: 現状の取り組みでは不十分であり、今後何らかの改善等が必要な場合。

次のページに続きます

これまで皆様の地域で取り組んだ事業(活動)について、事業の継続性、事業の波及効果、意識の向上、地域の意見、主体性、地域の利益(安心・安全な生活環境の確保)の観点から、特に評価すべき点(努力した点、成果)や課題について記載してください

特に評価すべき点(努力した点、成果)

課題

## 令和3年度ぐんま緑の県民基金事業 (市町村提案型事業) の評価

事業名	箇所数	アンケート結果による判定					備考
		内訳	A	B	C	未回答	
荒廃した里山・平地林	69	箇所数	65	4			
		構成比%	94%	6%	0%	0%	
荒廃した里山・平地林 【機器の購入】	9	箇所数	9			0	
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
森林環境教育・普及啓発	4	箇所数	4				
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
独自提案事業	11	箇所数	11				
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
合 計	93	箇所数	89	4	0	0	
		構成比%	96%	4%	0%	0%	